

に教えてくれる荒川中学校の先生方に我が子を預けてとても幸せです」と同じような言葉をいただきました。

私は、この言葉は学校への「最高の褒め言葉」だと思っています。たいへん有り難く、感激いたしました。

その後、職員に紹介しました。それぞれ違う立場（教科担任・学級担任・部活動顧問など）で「先生に教えてもらって良かった」「先生が担任で最高でした」などの「最高の褒め言葉」を生徒からもらえるように頑張ってください、と。私自身も、全校生徒の保護者からこういう言葉をいただけるよう学校運営に尽力していきたいと思えます。



☆平成29年度 荒川中学校 全国学力・学習状況調査の結果と分析

【H29.4.18(火)3年生を対象に実施】

〈1〉各教科の正答率 (A問題=主として知識 B問題=主として活用)

	荒川中	村上市	新潟県	全国
国語A(正答率)	75.0	78.5	77.0	77.4
国語B(正答率)	73.0	73.8	73.0	72.2
数学A(正答率)	67.0	70.2	66.0	64.6
数学B(正答率)	49.0	48.7	48.0	48.1



〈2〉国語について

○国語Bで、全国平均を上回っている。

△学習指導要領の領域等でみると、国語Aで「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bで「話すこと・聞くこと」が全国平均を下回っている。

△出題の趣旨でみると、国語Aでは「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」「行書の特徴を理解する」「古典には様々な種類の作品があることを知る」の正答率が低い。また、国語Bでは「話の論理的な構成や展開などに注意して聞く」の正答率が最も低い。

〈3〉数学について

○数学A、数学B共に全国平均を上回っている。

△学習指導要領の領域でみると、数学A、数学B共に「数と式」で全国平均を下回っている。

△出題の趣旨でみると、数学Aでは「空間における直線と平面の平行について理解している」の正答率が低い。

○「錯角の意味を理解している」「関数の意味を理解している」の正答率が高い。

△数学Bでは「付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる」の正答率が最も低い。

〈4〉学習状況調査について【課題と考えられる項目】

(1) 将来の目標

質問事項	荒川中	新潟県	全国	全国比
10 将来の夢や目標を持っていますか	58.6	70.8	70.5	-11.9

(2) 家庭学習習慣の定着について

質問事項	荒川中	新潟県	全国	全国比
15 学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(※2時間以上している生徒の割合)	12.2	19.6	35.4	-23.2
16 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(※2時間以上している生徒の割合)	15.8	38.4	41.8	-26.0
13 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか(※2時間以上している生徒の割合)	58.6	37.1	37.6	-21.0
33 家で学校の授業の予習をしていますか	15.9	22.4	23.4	-7.5
34 家で学校の授業の復習をしていますか	39.1	45.4	50.5	-11.4

- ①将来の夢や目標を持っている生徒の割合が全国に比べ低い。
- ②平日および休日に1日2時間以上勉強している生徒の割合は全国に比べ大きく下回っている。
- ③復習や予習に取り組む生徒の割合も全国を下回っている。

〈5〉分析結果に基づく今後の取組

(1) 授業改善について

【荒川4段階方式を取り入れた授業改善の推進】

学習状況調査の結果から、第一段階「ねらいおよび課題の提示」から第四段階「学習の定着を確認する場」が一貫している授業が各教科で進められていることがわかる。また、第三段階「交流学习の場」についても、生徒自身が他と関わりながら自分の考えを交流・深化させていることがわかる。よって、今後も荒川4段階方式の授業スタイルを継続実施していくことと、各教科担当の指導アイデアを融合することで、生徒の学習意欲を喚起し、さらに分かりやすい授業を進めていくことを確認する。

(2) 家庭学習について

- ① 学習状況調査の結果から、「総合的な学習の時間」は生徒にとって効果的な指導が行われていると考えられる。しかし、将来の夢や目標を持っている生徒の割合が全国と比べて低いことから、3年間を見通して、発達段階に合わせた明確な目標を設定し、振り返りを充実させた体験的なキャリア教育を進める。
- ② 各学期に行うセルフモニタリングシートを活用し、家庭と連携して生活習慣改善指導を進める。
- ③ 「荒川中学校区共通の家庭学習の指導計画」や「学習のすすめ」などを活用し、各教科・学年等で家庭学習のやり方(予習・復習)を随時進める。
- ④ 各学級の宿題ボードを活用し、教科間で量や内容のバランスを取って宿題を課す。

「勉強ができる人」になるためのアドバイスPartⅢ 「苦手との向き合い方」

みなさんは「苦手」とどのように向き合っていますか？時間をかけてたくさん練習したり、じっくり参考書を読んで理解しようとしたり、あるいは、諦めてしまって考えないようにしてしまったり…。

苦手に向き合うときにやることは、頭の中に「なぜ？」を問いかけてくれる先生を想像することです。「なぜ苦手なのか？」を自分に問いかけるのです。そして、その問いかけの返事にさらに「なぜ？」を問いかけるのです。

たとえば数学で、

「なぜ数学が苦手なのだろう？」 → 「方程式の文章問題ができないから」

「なぜ方程式の文章問題ができないのだろう？」 → 「何を書けば良いかわからないから」

「なぜ何を書けば良いのか分からないのだろう？」 → 「何を求めれば良いのか分からないから」

このように「何を求めれば良いのか」が理解できれば、苦手克服に1歩近づきますね。さながら、大きくて分厚いステーキを口に入る大きさに切り分けていく感覚と似ています。

「苦手」はお化けに似ていると思います。まっすぐ向き合うのが怖かったり、逃げたかったり…。でも、勇気を出して向き合えば、案外へっちゃらだと気づくこともあります。

大事なことは、「逃げずに向きあう」ことです。そして、「苦手を克服した自分」「苦手が得意になった自分」をイメージして立ち向かい続けることです。いつのまにか、苦手を好きにしちゃう自分がそこにいます。

苦手とは裏を返せば、自分が大きく成長できる種と同じなのです。冬休み中の学習でしっかりとその芽を出し、育てて、大きな花を咲かせていきましょう

☆表彰

【剣道部】

○村上市山北地区剣道大会（10月8日）

- 〈中学生男子の部〉 1位 伊藤 尚太(2-3)
2位 近 維織(2-1)
3位 岩瀬 陽生(1-3)
3位 市橋 千景(1-3)
〈中学生女子の部〉 1位 佐藤 妙(1-1)
2位 近 桃羽(1-3)

○村上市体育強化荒川地区剣道大会〈第28回松浦賢司杯剣道大会〉（11月5日）

- 〈中学男子団体〉 2位 荒川中学校
〈女子個人戦〉 3位 佐藤 妙(1-1)
3位 近 桃羽(1-3)

【陸上競技部】

○少年少女親善オリンピック陸上競技大会(10月8日)

- 中学男子砲丸投 2位 坂上健太郎(2-3)
4位 渡辺 豹牙(1-1)
中学男子走幅跳 7位 松本 蓮(1-1)
中学女子走高跳 1位 松田 彩秀(2-2)

○下越地区新人陸上競技選手権大会（10月14日）

- 共通男子3000m 3位 内山 暖(2-1)
共通男子砲丸投 1位 坂上健太郎(2-3)
1年男子走幅跳 1位 松本 蓮(1-1)
1・2年男子400m 2位 渡邊 琉汰(1-2)
1年男子100m 3位 松本 蓮(1-1)
// 6位 山崎 翔太(1-1)
共通女子走高跳 1位 松田 彩秀(2-2)
共通女子四種競技 1位 松田 彩秀(2-2)
1・2年女子四種競技 5位 近 美結菜(1-3)

【バドミントン部】

○神林バドミントン大会（11月19日）

- 〈Cクラス〉 3位 高橋 真帆(3-2)
玉木 遥渚(3-2)
〈中学生ダブルス〉 3位 大嶋 夕稀(2-3)
斎藤 愛奈(2-2)

【バレーボール部】

○第36回村上市岩船郡中学校バレーボール大会（11月4日） 3位 荒川中学校

【ソフトテニス部】

○下越地区中学校新人ソフトテニス研修大会（11月3日） 女子団体 1位 荒川中学校

【卓球部】

○荒川オープン卓球大会（10月8日）

- 〈中学1年女子の部〉 1位 小林 茉咲(1-3)
〈中学1年男子の部〉 1位 小林 由人(1-3)
2位 大堀 豪飛(1-3)

○新潟県中学校新人卓球大会下越地区予選会（11月5日）

- 〈2年女子個人〉 9位 高橋 芹菜(2-2)
〈1年男子個人〉 1位 小林 由人(1-3)
2位 高橋 航大(1-3)
3位 大堀 豪飛(1-3)
〈1年女子個人〉 3位 小林 茉咲(1-3)

☆以上5名が県新人大会に出場!!

【読書感想文】

○第63回下越地区中学校読書感想文コンクール

- 優良賞 中東 陽和(3-1)

○第48回村上市・岩船郡中学校読書感想文コンクール

- 〈優良賞〉 中東 陽和(3-1) 八幡 俊(3-3)
小島 舞雪(3-3) 川村 千華(2-3)
〈佳作〉 木村 実由(3-1) 五十嵐澄佳(2-3)
島津 月花(2-1) 風間 芹菜(2-1)
小島 楓貴(1-2) 板垣 明笑(1-2)

【税の作文】

- 〈村上税務署長賞〉 佐藤 愛海(3-1)
「税への知識とこれからの役割」
〈村上市長賞〉 井上 咲南(3-2)
「税」

【数学検定合格者】

- 〈3級〉 近藤 陽菜(3-1) 柏櫓 郁斗(3-3)
齋藤 彩乃(3-3)
〈4級〉 石井 幸太(2-1) 佐藤 圭(2-2)

【英語検定合格者】

- 〈3級〉 高橋 慧(2-2) 岩瀬 駿佑(3-1)
門脇 そら(3-1) 近藤 陽菜(3-1)
室本 千空(3-1) 上野 秋星(3-2)
渡邊 幸哉(3-2) 齋藤 彩乃(3-3)
志村 結(3-3) 山田 詩織(3-3)
八幡 俊(3-3)
〈4級〉 坂上 奈央(2-2) 渡邊 美吹(2-2)
川村 千華(2-3) 松本 歩(2-3)
山田 莉久(2-3)
〈5級〉 高橋 めい(3-3)



荒川中
だより

青い雲

村上市立荒川中学校
平成29年度 第8号
平成29年11月30日発行
Tel. 0254-62-3251



教育目標：「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「笑顔とハートのある学校」（ハート＝熱いハート、温かいハート、柔らかいハート）



「七五三」

先日、息子の長男（5歳になった孫）の七五三に行ってきました。新潟市にある白山神社へお宮参りに。何をしても孫が最優先の爺（じじ）と婆（ばば）です。長寿の願いが込められた「千歳飴」を分けてもらいました。

毎年11月15日には「七五三」が行われます。昔は、飢餓（きが）や流行病（はやりやまい）で乳幼児の死亡率が高く、生まれてから3～4年たってから現在の戸籍にあたる人別帳や氏子（うじこ）台帳に登録したそうです。そのため、七五三のお祝いは、今まで無事に成長したことへの感謝と幼児から少年・少女期への節目（ふしめ）に、これからの長寿と成長を願う意味を持っていたのです。

平安時代の宮中行事である三歳の「髪置（かみお）き【小児が髪を伸ばしはじめるときの儀式】」、五歳の「袴着（はかまぎ）【幼児が初めて袴をつける儀式】」、七歳の「帯解（おびと）き【着物のつけひもとって、初めて普通の帯をしめる祝い】」の儀が七五三の起源だと言われています。江戸時代、徳川将軍家が「袴着の儀」お祝いを11月15日にとり行っていたことから、この日に定着したようです。

親は誰しも、子どもの行く末を案じています。その思いを形で表現したものが、子どもの成長過程で行われる様々な伝統行事です。「お七夜（しちや）【子どもが生まれて七日目。そのお祝い。この日、赤ん坊に名をつけることが多い】」「お食初（くいぞ）め【出生後はじめて食事をさせるお祝いの儀。新調の膳（ぜん）を使って食べさせるまねをする。生後100日目にする所が多い。】」「初節句（はつぜっく）【生まれた子がはじめて迎える節句。女兒は3月3日、男児は5月5日】」「七五三」などがその代表的なものでしょう。

そうした思いを受けて子どもは成長し、いずれは自分が親となって、今度は子どもにその思いをかけていきます。子どもを持ってはじめて、自分を育ててくれた親の愛情や苦勞に気づく人も多いのではないのでしょうか。

今、自分がここにいるのは、両親のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、自分のできるお返しを両親にしていきたいものです。



「最高の褒め言葉」

10月28日（土）に行われた荒川中学校の文化祭「青雲祭」には、多くの方々においでいただき、ありがとうございました。

午前中のステージ発表「青フェス」が終了した頃、職員にある保護者が「我が子をこの荒川中に通わせてとても幸せです。安心して任せられます」と言ってくれたそうです。私がこういった言葉を聞いたのは2度目です。1度目は、20年前の同じ荒川中学校の保護者からです。その当時は、保護者を対象に「中学生をもつ親の在り方」と題して、保護者の参加を募り、夜7時から9時まで親業（おやぎょう）訓練＝家庭教育を、先生方をスタッフとして毎週1回、合計3回のコースで行っていました。「子どもの叱り方」「子どものつぶやき」「働く母親の子どもへの対応」「同じ目の高さで」「スキンシップ」「開かれた質問」など、実技を主にした講座で、以前学校だよりも掲載した内容のものです。

最終日、参加していただいた保護者から感想を書いていただき、その中に「こういうことを親身